

- TAKADA, H., 1976. Redescription and some notes on *Paralipsis eikoaee* (YASUMATSU) (Hymenoptera: Aphidiidae). *Akitu, New Series*, 7: 1-6.
- & M. SHIGA, 1974. Description of a new species and notes on the systematic position of the genus *Aclitus* (Hymenoptera, Aphidiidae). *Kontyû, Tokyo*, 42: 283-292.

新刊紹介

The Blackflies (Diptera: Simuliidae) of the Philippines. Hiroyuki TAKAOKA (1983) B 5 上製, pp. 212, 図 237, 定価 9800 円 (日本学術振興会発行, 発売元丸善株式会社).

フィリピン群島のブユのモノグラフが、日本の研究者によってまとめられたので紹介したい。著者は、大分医科大学医動物学の助教授高岡宏行博士である。ブユは中南米やアフリカの人のオンコセルカ症（アフリカでは river blindness と呼ばれ、失明を伴う病気）の媒介昆虫として知られ、また鳥の原虫症の病原体であるロイコチトゾーン（ただしニワトリの間で大流行したロイコチトゾーンの媒介者はヌカカである）の媒介者でもあるので、医学系や獣医学系では専門に研究している人も多い。しかし、わが国のブユのモノグラフすらまだ出来ていない現在、僅か半年ほどのフィリピン滞在でこれだけの成果を挙げた高岡博士の努力に敬意を表したい。フィリピン群島から記録されたブユは 57 種類であるが、そのうち実に 39 種類は今回新しく命名された新種である。しかもそのうち一種を除いて、全てフィリピン群島の固有種である。詳しく検討すると、東洋区とオーストラリア区の系統が混じり合った、興味深いファウナであるという。フィリピンのブユ科は、*Simulium* 属のもとに *Eusimulium* (4 種), *Wallaceum* (新亜属, 8 種), *Morops* (8 種), *Gomphostilbia* (13 種), *Simulium* (24 種) の五亜属に分類されている。記載にあたっては、まず亜属の検索表が示され、ついで亜属ごとに種の検索表が、成虫（雄、雌）、蛹、幼虫の順序で示されている。図版 48 頁には、重要な形質の図（約 240 枚）が付けられ、便利である。高岡博士によれば、タイのブユもかなり集まっている由である。将来、日本も含むアジア地域のモノグラフを次々完成されることを期待したい。

(宮田 彰)